

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年 11月 29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	勇建設株式会社
所在地	北海道札幌市中央区北6条西14丁目4番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 坂 昭弘
担当者連絡先	電話：011-221-0171
	メール：ken-takane@isami-con.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.isami-con.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要














<p>当社は昭和31年4月の創業以来、北海道内において総合建設業として事業活動を展開し、今日に至っています。「堅実な経営」と「誠実な施工」という経営理念のもと、北海道内の港湾、漁港などの海洋土木工事を中心とし、空港、道路、河川、橋梁、水道、農業などの土木工事を実施しています。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ICT化を推進して労働生産性を向上させ作業の効率化を図る	有給休暇取得率の向上 2021年度 50% 2030年度 80%          プラス 30%
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	ゼロカーボン社会の実現に貢献するため、事業活動に伴うエネルギー消費量を抑制するとともに育樹、植樹、植栽等の環境活動を積極的に実施する。	排出されるCO2排出量の削減（現場を除く） 2021年度 163,750kg 2030年度 147,375kg          マイナス 10%
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済		

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	就業規則にハラスメント防止規程を策定し、定期的にハラスメント研修を実施している。				5.1 5.2 5.5				8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	ICTを積極的に活用し、労働時間の短縮を図り、勤怠管理システムを活用し管理している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生委員会を毎月開催し、安全プロジェクトへの参加、安全衛生協力会、安全衛生委員会による定期安全パトロールを実施している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	メンタルヘルスセミナーを開催し、年に一度ストレスチェックを実施している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定と実施。北海道働き方改革推進企業認定(女性の活躍応援自主宣言)を受けている。				5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	業務に必要なスキル習得のため外部講習の受講、資格取得等の費用を会社で負担している。			4	5.5				8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康経営優良法人の認定、外部機関と連携をして健康相談、特定保健指導等を実施している。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	北海道グリーンピズ認定を受け、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処分の取組み、社内における事務用品の3Rを推進している。										11.6 12.4 12.5		14.1					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	環境報告書を作成し、エネルギー使用量を把握、検証している。							7.3					13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																							
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	電気、ガス使用量の削減などのオフィス活動における省エネの取組のほか、工事において環境配慮型建設機械の活用などの環境負荷の低減に総合的に取り組んでいる。											7.2 7.3			12.4	13.3						
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	有害化学物質のSDS(安全データシート)を用いたリスクアセスメントの実施により適切な取扱いをしている。			3.9				6.3							11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	施工検討会時に環境影響を評価し、現場で必要な環境保全対策を講じている。また、札幌市が提唱する生物多様性札幌応援宣言をしている。							6.6										15				
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	無人化散水システム「養生ヘルパー」の開発・運用により散水量を適切に管理し、水資源に配慮している。							6.4 6.6														
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001 認証取得している。			3.9			6	7						12	13.3	14	15					
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ISO14001に基づき行った取り組みを環境報告書に取りまとめ毎年HPIに公開している。											12.6										
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	作業所においてソーラーハウスの導入、ソーラーパネルの設置、日中の充電による夜間ソーラー式のバルーンライトの使用等推進している。							7.2								13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	グリーン購入法に基づき、事務用品のグリーン購入を推進している。											12.2	13	14	15							
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001の認定を受け、安全で良質な構造物を提供するシステムを構築している。			3.9								12.4										
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	良質な構造物を提供するため施工検討会を工事着工前に開催している。										9											
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	無人化散水システム「養生ヘルパー」の開発・運用により適切な散水量を適切に管理し、水資源に配慮している。							6					12	13	14	15						
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	工事施工により影響を受ける施工箇所周辺の住民と積極的にコミュニケーションを図り地域の声を施工に生かしている。				4						9	11	12		14	15					17	



### 3. 添付資料

- ✓・SDGs 達成に向けた具体的な取組(様式第2号)
- ✓・誓約書(様式第3号)
- ・SDGs 達成に向けた取組が記載された会社案内等(自社のウェブサイトがない場合に限る。)

### 4. その他(下記の事項について口にチェックをしてください。)

#### <登録要件の確認及び同意事項>

- ✓自社のウェブサイト又は会社案内等にSDGs 達成に向けた取組について掲載しています。  
(SNSやホームページの「お知らせ」等の一過性の場所に記載するのではなく、専用ページを設けるなど、SDGs 達成に向けた取組が常時分かるよう掲載してください。)
- ✓登録情報及び取組内容(本申請書に記載したSDGs 達成に向けた重点的な取組及び2030年に向けた資料並びに様式第2号に記載した具体的な取組)について、国土交通省港湾局がウェブサイト等で公表することに同意します。

#### 【記載留意点】

- ・「港湾関係企業等としての事業の概要」には、港湾の整備、利用、保全及び管理に関する具体的な事業活動の概要を記載してください。
- ・「SDGs 達成に向けた重点的な取組」には、様式第2号の「SDGs 達成に向けた具体的な取組」に記載いただいた取組を踏まえ、SDGs の達成に向けて重点的に取り組んでいく項目(目標)を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、登録の日から1年経過するごとに、様式第4号により国土交通省港湾局にご提出ください。(提出方法については別途お知らせします。)